



入場
無料

「へんろ道文化を 川瀬歌舞伎に学び、 万博につなぐ」



令和2年3月8日(日) ■ 13:00~17:00 (受付12:30~)

●第1部会場<受付12:30~> _____ ●第2部会場 _____
久万高原町産業文化会館・久万高原駅「やまなみ」
(上浮穴郡久万高原町久万188番地)

当日受付 先着50名

川瀬歌舞伎は久万高原町下直瀬地区に伝わる農村歌舞伎(地芝居)で県内では現存する唯一の歌舞伎です。古老の話として「昔、お遍路さんが病気に倒れ、村人が介抱して快癒したお礼に浄瑠璃を教えた」とのこと。その後、江戸末期から明治、大正、昭和初期まで盛んに上演されていました。平成12年には愛媛県無形民俗文化財に指定されました。真実性は不明ながら「へんろ道文化」が地域にもたらした一つの事例かもしれません。

昨今、歩き遍路をされる外国の方を多く見かけます。いま世界で注目されている「四国遍路」を2025年の万博までにどのようなカタチで発信していけばいいのかを、地元文化を基に考えてみたいと思います。



- 12:30~ 受付(久万高原町産業文化会館)
- 13:00~ <第1部> 観劇 久万高原町芸能発表会での川瀬歌舞伎「玉三」
(さんごくでんらい たまものまえ あさひのたもと さんだんめ みははるやかた)
演目「三国伝来玉藻前 旭袂三段目道春館の段」
- 14:00~ 会場移動 ※隣接の久万高原駅「やまなみ」2Fホールに移動
- 14:20~ <第2部> 開会・主催者あいさつ
小山田 憲正(「四国へんろ道文化」世界遺産化の会 代表世話人)
- 14:30~ 基調講演「歌舞伎のこころを世界遺産に繋ぐもの」
渡邊 浩二氏(川瀬歌舞伎保存会 太夫)
- 15:30~ パネルディスカッション「2025大阪・関西万博で遍路を何で、どう、発信したい」
パネラー 小山田 憲正氏(「四国へんろ道文化」世界遺産化の会 代表世話人)
日野 明勅氏(久万高原町議会議長)
中山 晋氏(世界3大巡礼遍路体験者)
越知 カヨコ氏(「お接待サロン カヨちゃん家」)
コーディネーター 若松 進一氏(えひめ地域づくり研究会議 相談役)
- 17:00 閉会



◎主催:「四国へんろ道文化」世界遺産化の会、四国地域文化創造会議 ◎協賛:(公財)えひめ地域政策研究センター、えひめ地域づくり研究会議
◎後援:愛媛県、愛媛県教育委員会、久万高原町、久万高原町教育委員会、国土交通省四国地方整備局松山河川国道事務所、「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会、(一社)四国八十八ヶ所霊場会、愛媛経済同友会、愛媛新聞社、愛媛CATV(順不同)

【特別協賛】伊予銀行・愛媛銀行・愛媛信用金庫(順不同)

●お問い合わせ 「四国へんろ道文化」世界遺産化の会 事務局 〒790-0932 松山市東石井6丁目12-36星企画(株)内 TEL: 089-956-9288 担当/寺田・松木